



日野市環境情報センター(愛称かわせみ館)は環境に関する情報を収集・分析・発信するために、2005年7月に市民・事業者・学校・行政の協働で開設されました。

## 第3回かわせみ館フェア開催、多くの市民の方々が訪れました

4月3日(日)から6日(水)正午まで、環境情報センターかわせみ館で第3回かわせみ館フェアが開催されました。今回のフェアでは、センター1階の展示室を会場に日野市内で様々な環境保全の活動をしている市民団体(18団体参加)の取組みを紹介するパネル展を中心に、環境情報センターかわせみ館の事業内容や2015年度の活動報告、2016年度の活動予定の紹介も行い“日野市の環境保全活動を推進するかわせみ館”をPRしました。



1階では2017年4月に開設予定の新環境情報センターも入る(仮称)東豊田複合施設の模型を展示し、市民の方々から関心と期待が寄せられました。2階会議室では初日の3日にみんなの環境セミナー「カブトムシを育てよう!」を開催、親子12組、30名が参加、同時開催で「日野の昆虫たち」標本・写真展も実施しました。このセミナーは第1回のかわせみ館フェア(2014年3月)から行っているもので、子供たちに人気のセミナーです。4日は「缶バッジをつくろう」、5日は「木のペンダントをつくろう」という

タイトルで、子供を対象にした2つのワークショップを開催、子供たちが自分で絵を描いたり、ぬり絵をしたりして可愛い作品を作っていました。また、昨年12月に発行された「2014年度環境白書」から、水や緑、温暖化、生活環境など市民の方の関心が高いと思われる10の指標について解説したパネル展も4日~6日に開催しました。日野市の用水や環境についての意外な事実をクイズにした「日野市の〜!知らなかった」クイズも実施、回答者には動物絵はがきやキーホルダー、鉛筆と消しゴムなどが手渡されました。プレゼント企画としてカブトムシの幼虫、ゴージャアサガオの種も配りましたが、カブトムシのプレゼントには子供たち22名が訪れました。ワークショップやクイズの進行は、協働事業を行っている中央大学経済学部の学生たちにも手伝ってもらいました。



市民で賑わう会場

フェアの期間中に来場された方は子供たちを含めを146名、展示されたパネルを熱心に見ている方や市民団体の活動内容について質問される方、環境セミナーやワークショップに参加する子供たち、クイズに挑戦する方などで賑わいました。今回のフェア告知は「広報ひの」のほかにかわせみ館に近い第一小学校や仲田小学校にチラシを配ったり、豊田のイオンモールに大型のポスターを掲示するなどしましたが、開催期間中雨の日が多く、市民の皆さんに十分PRできなかったのが残念でした。

来場者に対するアンケート調査では、「かわせみ館」を知っている人は37%、「環境情報センター」を知っている人は29%、「センターの愛称がかわせみ館である」ことを知っている人は18%でした。まだまだ「環境情報センター」「かわせみ館」の認知度は低い現状です。このフェアで「市民団体やセンターの活動がよくわかった」



環境セミナーの様子

「まあわかった」と答えた人はあわせてほぼ100%でした。日野市の環境保全への取り組みについては、「熱心だ」74%、「まあ熱心だ」26%という評価でした。昨年度からスタートした「日野市生物多様性地域戦略」に関連して「生物多様性」という言葉についても聞いてみましたが、「内容についても知っている」28%、「聞いたことがあるが内容はわからない」47%、「知らない」25%でした。今回のアンケートでは日野市が取り組んでいる主な環境保全活動の認知状況も聞きました。「ふだん着でCO<sub>2</sub>をへらそう」の認知率は60%、「エコキング」は32%、「ひの緑のトラスト募金」は21%、「環境フェア」は62%という結果でした。



ワークショップ

かわせみ館フェアは今回で3回目の開催となりましたが、今後も市民や市民・行政との協働による日野市の環境保全に対する取り組みや、これらの取り組みを支援する日野市環境情報センター「かわせみ館」の活動を広く市民の方々に知っていただく機会として、より一層充実した内容で開催していきたいと考えています。

# 平成27年度からスタートした日野市生物多様性地域戦略はこんな活動をしています

日野市は、市域の北側を多摩川、中央部を浅川が流れ、また市内各所に用水路が広がっているほか、湧水も多数点在するなど、「水の郷」と呼ぶにふさわしい環境にあります。また、多摩丘陵や崖線など自然度の高い緑や水田・畑などの農地が市内に点在しており、首都近郊に位置しながらも比較的豊かな生態系が維持されています。

平成27年度から取り組み始めた日野市生物多様性地域戦略は、平成30年の策定を目指して「日野市生物多様性地域戦略策定委員会」を組織し、市民・事業者の皆様と一緒に現在、検討を進めているところです。

この戦略は、これまでの市民の皆様と日野市の取り組みの成果を総括すると共に、「緑と清流のまち ひの」を根幹に据え、将来の日野市の目指すべき生物多様性の姿や基本的な考え方を示し、私たちが先人から引き継いだこの身近で大切な自然環境を次の世代にしっかりと伝え、持続可能な日野らしいまちづくりを目指し、策定・運用していきます。

平成27年度はスタートの年として以下のような活動を行いました。

平成27年

- 4月 日野市生物多様性勉強会  
戦略策定のための市内基礎調査（文献調査、自然環境調査）
- 5月 第1回日野市生物多様性地域戦略策定委員会開催
- 6月 日野市生物多様性キックオフイベント（イオン多摩平の森イオンホール）
- 8月 第2回日野市生物多様性地域戦略策定委員会開催
- 10月 第1回市民参画部会開催

平成28年

- 2月 第2回市民参画部会開催
- 3月 第3回市民参画部会開催

ひの生きもの探し隊員募集（6月～）：現在122名の隊員が活動中

ひの生きものマップ（アプリ）作成（6月～）：日野市ホームページに掲載



キックオフイベントでの市長挨拶



## 日野市の昆虫たち（その4）

日野の自然を守る会 森川正昭

<多摩丘陵と多摩川河川敷、互いに違う環境で生息する昆虫たち>

### 3. 河川敷特有のその他の昆虫

前回までは、河川敷で見られるチョウとガについてお話をしましたが、今回は河川敷で見られるそれ以外のいくつかの興味ある昆虫を紹介します。

#### ○セスジヒメハナカミキリ

本来は奥多摩、高尾山などの比較的山地に見られるカミキリムシですが、2010年4月21日に多摩川河川敷で初めて見つかると、低地のそれも河川敷で見つかったことは大きな驚きでした。現在、日野市より下流域には記録が無く、4月末から5月上旬頃にクワやエノキの花に集まります。



2012.4.28  
撮影

#### ○ホソツツタマムシとクロケシタマムシ

金緑色に輝くヤマトタマムシと同じタマムシの仲間ですが、2種類とも黒色の3～5mm程の小さいタマムシです。河川敷に生える外来植物のシナダレスズメガヤなどのイネ科植物につく珍しいタマムシで、5月から8月頃見られます。



2012.4.28  
撮影

#### ○カワラバッタとウスバカマキリ

カワラバッタは名前のように河原でのみ見られるバッタで、こぶし大の石が転がる礫河原のみで見られます。最近、そのような環境が少なくなり、非常に少なくなっています。また、ウスバカマキリは多摩川中流域の草丈の低い草地に生息する珍しいカマキリで、体の色に薄緑と茶褐色の二つの型があります。どちらも成虫は7月頃から見られます。



2012.4.28  
撮影

#### ○クロコウスバカゲロウとカスリウスバカゲロウ

市内にはウスバカゲロウの仲間が5種類生息していますが、その中で、河川敷にはクロコウスバカゲロウ、カスリウスバカゲロウの2種類が生息しています。幼虫はアリジゴクと言われ、砂地に丸いすり鉢型の巣をつくり、落ちてくる昆虫などを食べて育ちます。しかし、カスリウスバカゲロウのアリジゴクは巣をつくらない為、見つける事が難しく生態はよく分かっていないようです。5月から10月頃まで見られます。

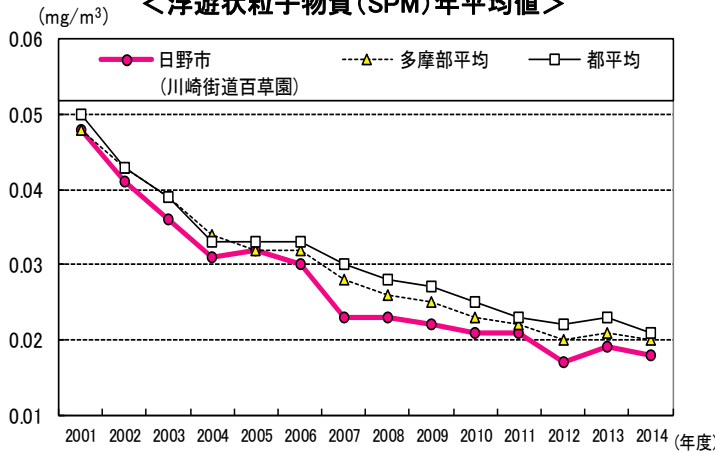


2012.4.28  
撮影

なお、今回で河川敷特有の昆虫については終わりになりますが、今まで紹介しました昆虫以外にも、まだ多くの河川敷特有の昆虫類が生息しており、大きな河川に恵まれた日野市にはそれだけ多くの種類の昆虫類が生息しているのです。次回からは丘陵地の昆虫を紹介します。

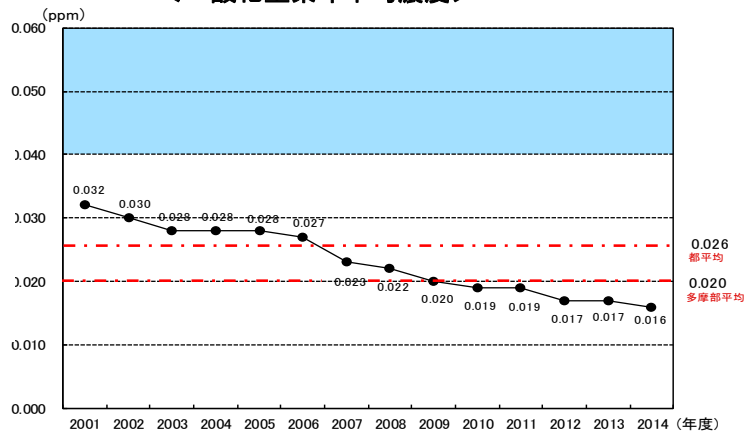
# ■2014年度日野市環境白書から② 「日野市の大気汚染の度合いは？」

## ＜浮遊状粒子物質(SPM)年平均値＞



環境基準：1時間値の1日平均値が1.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。

## ＜二酸化窒素年平均濃度＞



環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること

東京都自動車排出ガス測定局の測定結果によれば、日野市（川崎街道百草園）のSPM年平均値は多摩部平均や都平均よりも低く推移しています。2007年3月に開通したバイパスにより自動車の交通量は分散したことが考えられ、2007年度以降は低い数値を示しています。また、二酸化窒素年平均濃度も2014年度は昨年とほぼ同様の0.016ppmを示しています。日野市の値は、都平均値0.026ppm、多摩平均値0.020ppmと比較して低い値となっています。

浮遊粒子状物質(SPM: Suspended Particulate Matter)とは大気中に浮遊している粒径10μm以下の粒子と定義されています。その構成成分は多種多様で、例えば自動車(主にディーゼル車)の排気ガスに含まれている燃焼の際のスス等(排気管一次粒子)や、タイヤや路面が摩耗して堆積し、自動車の走行によって巻き上げられるもの、海塩粒子、土壌粒子等も含まれますし、ガス状物質として大気中に放出されたものが粒子に変化して、硝酸塩等になる二次生成粒子と呼ばれるものも含まれます。

# ■平成27年度「エコキング冬」の調査結果がまとまりました

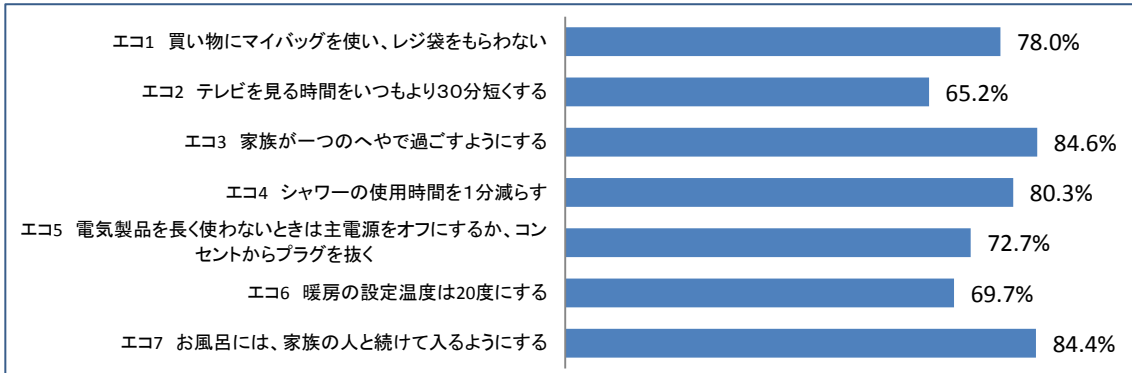
平成27年度「エコキング冬」の調査結果がまとまりました。「エコキング」とは、市内の全小学校にご協力いただき、小学生のいる家庭の夏と冬の“ある1日”のエコ活動を通して、CO<sub>2</sub>がどれくらい削減されるかを調査するものです。日野市環境基本計画推進会議CO<sub>2</sub>グループ主催で平成18年からスタートし今年で10年目です。

平成27年度冬の調査は12月12日（土）の1日間のエコ活動について聞きました。市内の小学生6,819名が参加、下記の7つのエコ活動の家庭での実施状況を聞きました。調査の集計結果をみると、全学校計でエコ活動の実施率が最も高かったのは、「エコ3：家族が一つのへやで過ごすようにする」で84.6%、次いで高かったのは「エコ7：お風呂には、家族の人と続けて入るようにする」で84.4%でした。これは家族の団らんにも通じるもので大事にしたいものです。最も低かったのは「エコ2：テレビを見る時間をいつもより30分短くする」で65.2%でした。

7つのエコ活動の実施者数にそれぞれの活動で削減されるCO<sub>2</sub>の量をかけて算出した12月12日の1日間で削減されたCO<sub>2</sub>の総量は全小学校計で2,583,526gで、テニスコート約10.3面分の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量に相当します。もし、12月12日のエコ活動を1年間続けると、テニスコート約3,770面分（これは市役所の前にある日野中央公園22,849m<sup>2</sup>の約82個分に当たります）の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>が削減されることになります。日々の小さなエコ活動の積み重ねがCO<sub>2</sub>の削減に大きな効果があり、ひいては地球温暖化の防止にもつながります。

※テニスコート1面（約500m<sup>2</sup>）当たりの森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量250kgで換算

平成27年度「エコキング冬」  
7つのエコ活動実施率  
—全小学校計—



# 1月～3月の活動報告

## 1月7日(木)～14日(木)「日野の野鳥たち」写真展開催

「日野の生きものたち写真展」企画第3弾として市役所1階市民ホールで開催。今回は49種類の野鳥の写真を森や林、河原や草原、街中、水辺など野鳥がよく見られる場所で分類し展示、市民の皆さんが熱心に見ていました。また、初めての試みとして、日野市環境緑化協会の協力を得て、協会が発行した作文集(平成27年度)「緑のまち」から野鳥に関する作文を3篇紹介しました。



## 2月18日(木)～29日(月)「日野の貴重植物」写真展開催

「日野の生きものたち写真展」企画第4弾として市役所1階市民ホールで開催。市内で見られる25種類の貴重植物の写真を多摩丘陵、日野緑地、河川敷の3つに分類して展示しました。また、準絶滅危惧種であるカザグルマを中心に絶滅の恐れのある植物の保全について、クレマチス研究家の三池田修氏に解説文を書いていただき展示しました。あわせて、貴重植物の保護のために必要な管理作業の取組みについても紹介しました。



カザグルマ

今年度開催された「みんなの環境セミナー」や写真展などは以下の通りです。大勢の皆さんに参加していただきました。ありがとうございました。

### 2015年(平成27年)

- 4月 かわせみ館フェア  
みんなの環境セミナー「カブトムシを育てよう！」  
2013年度日野市環境白書パネル展
- 5月 第7期市民環境大学開校(前期5～7月、後期10月～12月全20回開催)  
第11期雑木林ボランティア講座スタート(～2016年3月まで10回開催)  
緑のカーテン設置(どんぐりクラブメンバー協力)
- 6月 日野市生物多様性地域戦略策定キックオフイベント  
写真展「日野の昆虫たち」  
みんなの環境セミナー「集まれ!昆虫キッズ 日野の昆虫を調べよう」
- 7月 みんなの環境セミナー「谷仲山の水と緑の探検」(市民環境大学講座)  
「日野市環境情報センター開設10周年を記念して」発行
- 8月 みんなの環境セミナー「向島用水と水車を見る・知る・学ぶ」(水車プロジェクト共催)  
写真展「日野の魚たち」
- 9月 みんなの環境セミナー「虫や風を利用する花たち」(雑木林ボランティア講座)
- 10月 みんなの環境セミナー「里山づくり」(雑木林ボランティア講座)
- 11月 環境フェア かわせみ館ブース開設  
みんなの環境セミナー「日野の雑木林は今」(みどりグループ共催)
- 12月 みんなの環境セミナー「向島用水を見る・知る・探る」(市民環境大学講座)  
2014年度日野市環境白書発行



### 2016年(平成28年)

- 1月 写真展「日野の野鳥たち」
- 2月 写真展「日野の貴重植物」



## \*\*4月～6月の行事・イベントのお知らせ\*\*

### 6月16日(木)～23日(木)「日野の昆虫たち」写真展

市役所1階市民ホールで日野市内で見られる昆虫たちの写真展を開催します。日野の自然を守る会の森川正昭氏が撮影した迫力ある写真で昆虫たちの生態を紹介します。6月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。

### 6月18日(土) みんなの環境セミナー「集まれ!昆虫キッズ 日野の昆虫を調べよう」

「日野の昆虫たち」写真展と同時開催で、日野市内に生息する昆虫たちについてカブトムシを中心に日野の自然を守る会の森川正昭氏に解説していただきます。カブトムシのさなぎのプレゼントも予定しています。6月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。

## 「ひの緑のトラスト」募金活動にご協力を

百草地区には貴重な雑木林が市民と行政の協働により残されており、市民による保全活動が活発に行われています。この貴重な里山の保全を進めるため「ひの緑のトラスト」が設立され、募金活動を行っています。

環境情報センターでは「ひの緑のトラスト」の事務局として、募金活動などを担当しています。市内の緑地保全のための募金にご協力をお願いします。

詳細は環境情報センターまでお問い合わせください。



発行 日野市環境情報センター かわせみ館  
〒191-0011 東京都日野市日野本町1-6-3  
Tel/fax: 042-581-1164  
Eメール: kawasemikan@jcom.zaq.ne.jp